

おだがいさま

odagaisama

第58号
平成27年
6月1日発行



「イントネーションが一番大事ださげ」

現役リーダーと未来のリーダーが集結★

地域で子どもを育みたい！ 第三学区こどもリーダー研修会

3月28日、第三学区社会福祉協議会が主催する「こどもリーダー研修会」の世代間交流プログラム「大先輩と語ろう」が1泊2日の日程の中で金峰少年自然の家を会場に行われました。この研修会は子ども会リーダーの育成を目的に約30年間続けられています。

この日は、小中学校の子どもたちと「山王東部お茶飲みサロン」の大先輩合わせて23名が参加し、昔の遊びや昔話などを通して交流。“方言かるた※”や昔話を楽しんだ子どもたちからは「鶴岡の方言がこんなにあったなんて知らなかった」「昔話を聞いてイナゴのつくだ煮を食べてみたいと思った」などの感想が伝えられ、会場中が笑顔に包まれました。

第三学区社会福祉協議会青少年委員会の渋谷修一委員長は「子ども会活動の活性化のため、まずは人とのかわりを通して子どもたちの地域への愛着心を育みたいという想いから今回の企画を始めてみた。これからも様々な人たちの協力を得ながら学校や家庭では経験できない学びの場を創っていきたい」と今後の意欲を話してくれました。

※第三学区で生涯学習や読み聞かせ活動に携わる人たちが声を掛け合い結成した
“「城下町つるおか子ども方言かるた」制作実行委員会”が平成27年3月に制作したもの。

平成27年度 事業計画と予算

3月26日に開催された評議員会で、今年度の鶴岡市社会福祉協議会事業計画と予算が決定されました。

5つの重点事業

重点事業 ①

新たな地域福祉活動計画と地域支え合いプランの策定

今後の少子高齢社会に向けた地域福祉の推進体制や、地域ごとの課題やその取組等を盛り込んだ新しい「地域福祉活動計画」を策定します。また、福祉センター毎に取り組んでいる「地域支え合いプラン」については、26年度に策定を終えた藤島地域での取組を参考に策定をすすめます。

重点事業 ②

生活困窮に関する相談支援事業の充実

相談窓口「くらしステーション」を鶴岡市役所内に設置し、生活困窮者への相談支援と自立支援の強化を図ります。特に、教育や就労に関する行政内の部局との連携に努めながら、生活困窮者のための就労開拓と企業とのネットワーク構築に努めます。

重点事業 ③

「発展・強化計画」の推進

市社協の事業運営・経営や組織体制の強化策を定めた「発展・強化計画」（平成23年度）について、具体的な取組への評価等を進めるとともに、「地域福祉活動計画」、「事業経営計画」との関係を整理しながら、次期計画策定に向けた作業を行います。

重点事業 ④

介護保険及び障害者自立支援事業の安定的な運営

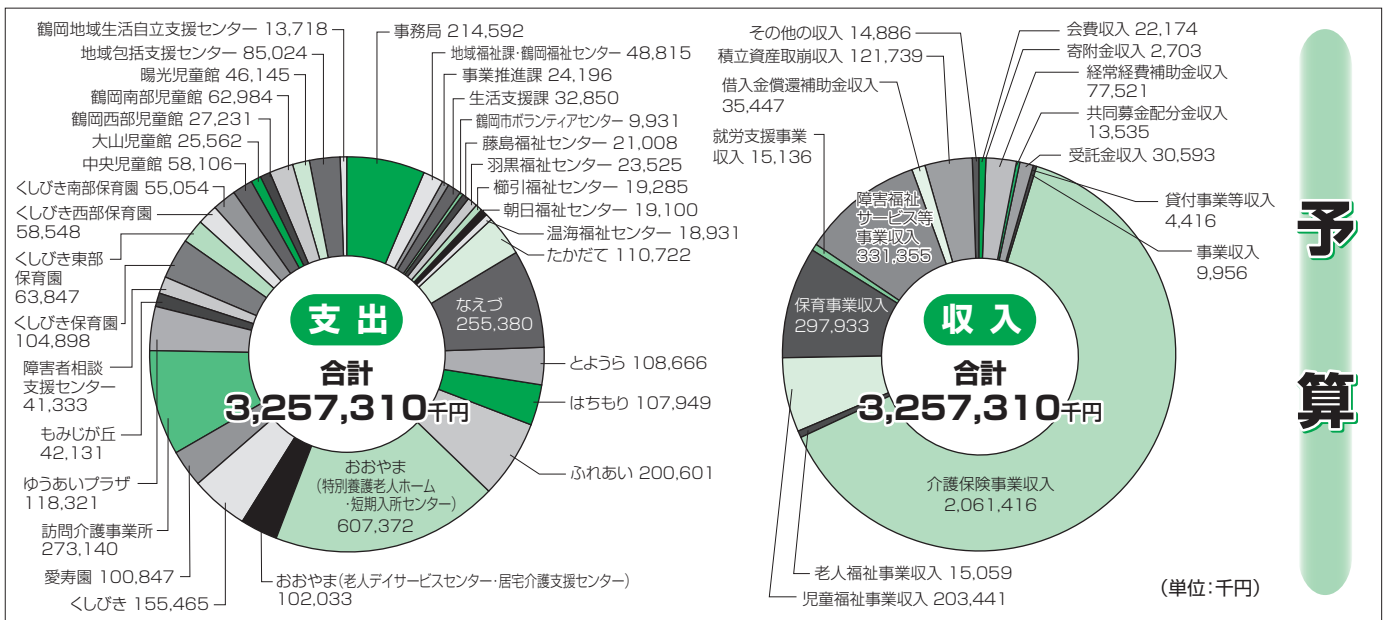
27年度から施行される大幅な制度改正の内容に合わせ、事業内容を見直すとともに職員の資質向上を図り、利用者一人ひとりのニーズに応えるサービスを提供することにより充実した支援に努めています。

また、市社協が行なう介護や障害のサービスのあり方を定めた「事業経営計画」については、この5年間の評価を行うとともに次期計画策定に取り組みます。

重点事業 ⑤

「子ども・子育て支援新制度」への対応

「子ども・子育て支援新制度」の動向を見据えながら、子育て支援ニーズを的確に捉え、子どもの健全育成を図るとともに、保護者への情報提供や気軽に育児相談ができる環境づくりを推進します。



事業計画

地域福祉事業	27年度は地域福祉活動計画の実施最終年次であることから、これまで各地域で出された意見等を踏まえ、次の5年間の計画を策定し、本市の地域福祉の進め方をより具体的に示していきます。 ○福祉コミュニティづくり事業 学区・地区社協に対する活動助成金の交付、学区・地区社協連絡委員会の運営及び情報交換会、研修事業の実施により、小地域福祉活動の基盤づくりを図ります。 ○おだがいさまのまちづくり事業 誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けていくために、支え合い・見守り等の福祉活動や地域課題の「発見と対応」の仕組みづくりを支援し、住民主体の地域福祉活動の発展強化を図ります。 ・福祉活動支援事業・地域福祉活動推進支援事業 ・おだがいさまネット活動推進事業 ・人にやさしいまちづくり事業 ・地域支え合いプラン策定事業 ・地域福祉の担い手発掘・養成事業 ・福祉関係団体等助成事業 ・孤立しがちな人の社会参加支援事業 ・仲間づくり交流事業 ○会食・配食・交流事業 コミュニティセンター、公民館単位で学区・地区社協などが実施主体となり、各種交流活動による仲間づくりと見守り、生活支援を図ります ○食の自立支援事業 援助が必要な在宅高齢者に栄養バランスの取れた食事を定期的に提供します。 ○福祉有償移送サービス事業 介護保険認定者、障害者手帳所持者で、公共交通機関の利用が困難な方々に、福祉車両などにより通院や買物などの外出を支援します。 ○福祉ボランティアまちづくり事業 ボランティア活動のコーディネートが円滑に行えるよう、受入側・活動側の養成を行うとともに、福祉の心を醸成するための福祉教育を推進します。 ○大震災等支援活動推進事業（県社協受託） 避難者支援では交流事業や相談支援を通し、より居住地域に馴染むような支援を推進します。被災地支援では被災地の自主性を尊重した支援を行います。 ○地域福祉運営事業 ・「福祉のつどい」や各種研修会の開催 ・「鶴亀番付」の発行 ○コミュニティソーシャルワーク実践者養成事業 日本地域福祉研究所の協力により、市・市社協職員等を対象として、コミュニティソーシャルワークを実践するための知識・技能を習得する研修会を開催します。 ○家族介護者交流激励支援事業（市受託） ○通所型介護予防事業（市受託） ○自立支援型デイサービス事業（市受託） ○共同募金配分金事業	生活困窮者自立支援法の施行に伴い、自立相談支援事業（県事業）を受託し、生活困窮者の自立に向けた個別支援事業に取り組みます。さらに、日常生活自立支援事業と成年後見制度による法人後見事業に一体的に取り組んでいきます。 ○生活困窮者への相談支援対応の構築 相談窓口「くらしステーション」を鶴岡市役所内に設置し、生活保護に至る前の段階の生活困窮者への自立支援の強化を図ります。 ○成年後見制度の意識調査 成年後見制度の啓発活動を進めるとともに、総合的に事業を推進するための意識調査を関係機関と協力し行います。 ○生活福祉資金・たすけあい資金の効果的な貸付 生活困窮者への一時的な貸付けに止まらず、自立に向けた効果的な貸付けに努めます。 ○ふれあい福祉相談事業（年14回） ○日常生活自立支援事業 ○権利擁護ネットワーク構築事業 ○生活困窮者自立支援事業 ○生活福祉資金貸付事業（県社協受託） ○たすけあい資金貸付事業	
	利用者一人ひとりの生活の質を高めるため、心身状況を理解・把握し、ケア関係者が共通の視点を持ち、その人らしい生活を支援します。 ○介護保険事業の安定的な運営 介護保険制度改正の内容を見極め、事業内容について見直し、ニーズに合ったサービス提供ができるように検討します。 ○在宅サービス事業 ・通所介護事業 ・訪問介護事業 ・居宅介護支援事業 ・訪問入浴事業 ・短期入所事業 ○入居サービス事業 ・特別養護老人ホーム ・グループホーム ○受託事業 ・通所型介護予防事業 ○介護職員初任者研修 ○生涯現役推進事業「なりげんき塾」 ○社協専門職資質向上研修事業		
	障がい福祉事業	障がい者が住み慣れた地域で安心した日常生活を送ることができるよう、自立支援の視点を持ち、個別支援を充実させ、社会参加を積極的に支援します。 ○就労継続支援事業 ○在宅支援事業	
	児童福祉事業	27年度より施行される子ども・子育て支援新制度の動向を見据えながら、子育て支援ニーズを的確に捉え、子どもの健全育成を図ります。子どもに安全で安心な保育の場、遊びの場を提供するとともに、保護者にとって有益な情報の提供や気軽に育児相談ができる環境づくりを推進します。 ○保育所運営 ○児童館運営 ○子育て広場運営 ○学童保育所運営（放課後児童対策事業）	

鶴岡市社会福祉協議会は本市における地域福祉推進の中核団体として、お互いにささえ合う安心した暮らしと優しさを育む福祉のまちを創るため、住民の主体的参加と行政並びに関係団体等との協働による「おだがいさまのまちづくり」を推進します。

共同募金配分事業への 「ありがとうメッセージ」

学校法人鶴岡城南学園 城南保育園

配分事業：幼保連携型認定こども園
城南幼稚園・城南保育園新築工事

この度は、赤い羽根共同募金配分金をいただきましてありがとうございました。今までは満3歳以上を受け入れる幼稚園でしたが、働く保護者のニーズに応えようと、0歳から受け入れることのできる保育園（認定こども園）を建設しました。鶴岡杉を使用し、電気とガスのハイブリット暖房を設置し、完全給食にするため厨房をつくりました。おかげ様で、木の香りがする温かい環境の中で、おいしい給食を食べることができます。

これから未来を担っていく子どもたちのために、皆さんの優しい気持ちが保育園に込められ、きっと子どもたちは健やかな成長を遂げていくことでしょう。私たち職員も、皆様のお気持ちに応えられるよう、一生懸命保育に取り組み、子どもたちの笑顔のためにがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。

今も保育園には子どもたちの笑い声や泣き声が、にぎやかに響いています。



赤い羽根募金 配分施設・団体のお知らせ

平成26年度に皆さまよりご協力いただきました赤い羽根共同募金は、平成27年度に地域福祉の推進のため、施設や地域活動に役立てられます。

〈本市の福祉施設・団体への配分総額 6,827,000円〉

配 分 団 体	
地域福祉・在宅福祉事業	鶴岡市第一学区社会福祉協議会
	鶴岡市第二学区社会福祉協議会
	鶴岡市第五学区社会福祉協議会
	自立支援センターふきのとう
	C A P 庄内
	N P O 法人明日のたね
	鶴岡市ボランティア連絡協議会
「福祉の心」推進事業	N P O 法人鶴岡災害ボランティアネットワーク
	社会福祉法人新形愛育会新形保育園
施設整備事業	鶴岡市社会福祉協議会くしびき南部保育園
	学校法人鶴岡城南学園
障がい者小規模作業所支援事業	N P O 法人やすらぎの会さくら稲生
	N P O 法人やすらぎの会さくら宝町
	N P O 法人やすらぎの会あけぼの
	N P O 法人やすらぎの会多機能型事業所ひかり
	N P O 法人いなほ作業所
	N P O 法人いなほ作業所山の子
	N P O 法人工房せい
	N P O 法人工房せい・つどいの家
	N P O 法人じゃがいも畑デイセンターじゃがいも
	N P O 法人絆の会レインボー広場
	N P O 法人ゆきやなぎ青柳作業所
	N P O 法人花の手づくりクッキーおからや
	N P O 法人一歩
民間立学童保育所支援事業	第三学区学童保育の会こどもの家
	第三学区学童保育の会こどもの森
	第五学区学童保育所運営委員会風っ子クラブ
	第五学区学童保育所運営委員会虹っ子クラブ
	第六学区学童保育所ゆりのき運営委員会ゆりのきⅡ
	学校法人いなば学園藤島児童クラブ1
	学校法人いなば学園藤島児童クラブ2
	第四学区学童保育所太陽の子
福祉車両整備事業	社会福祉法人恵愛会美咲の森保育園



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。

(平成27年3月10日から平成27年5月10日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・由良GGクラブ 様 10,000円
- ・(有)アップル企画 様

アップル歌謡祭招待券50枚

◎藤島福祉センターへ

- ・鶴岡市立藤島小学校児童会 様 10,262円

◎鶴引福祉センターへ

- ・佐藤 榮一 様 チャイルドシート1台

◎羽黒福祉センターへ

- ・鶴岡市立羽黒第二小学校児童会 様 8,000円

★東日本大震災の避難者支援事業へ

- ・鶴岡東ロータリークラブ 様 88,000円
- ・三瀬地区自治会 様、氣比神社氏子会 様 27,500円

★老人デイサービスセンターふれあいへ

- ・山形県立鶴岡工業高等学校定時制 様 3人掛けベンチ一脚※生徒作成
- ・鶴岡市立鶴岡第一中学校生徒会 様 健康増進のための機材1台

★老人デイサービスセンターたかだてへ

- ・山形県立鶴岡工業高等学校定時制 様 3人掛けベンチ一脚※生徒作成

★とようら老人デイサービスセンターへ

- ・掲載 (匿名) 10,000円

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・佐々木仁子 様 お雛様七段飾り一式

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- ・イオンリテール㈱、イオンモール三川店 様 ファンヒーター1台、クリーナー1台、コピー用紙一式

★鶴引すこやかセンターへ

- ・一里塚お茶のみサロン 様 手作りお手玉58個

★もみじが丘へ

- ・イオンリテール㈱、イオンモール三川店 様 収納ケース1台、色鉛筆一式、文具玩具各種

★中央児童館へ

- ・山形県立鶴岡工業高等学校定時制 様 ストラックアウト1台、ブロックトンネル5個 ※生徒作成

★鶴岡西部児童館へ

- ・㈱佐藤工務 様 花壇施工用テストピース、花壇作成作業ボランティア協力

おだがいさま

第58号

平成27年6月1日発行

発行部数 49,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。